

28年度予算要求案件：産学官連携事業

実学都市堺「新」適塾（又は晩晴塾）化計画*

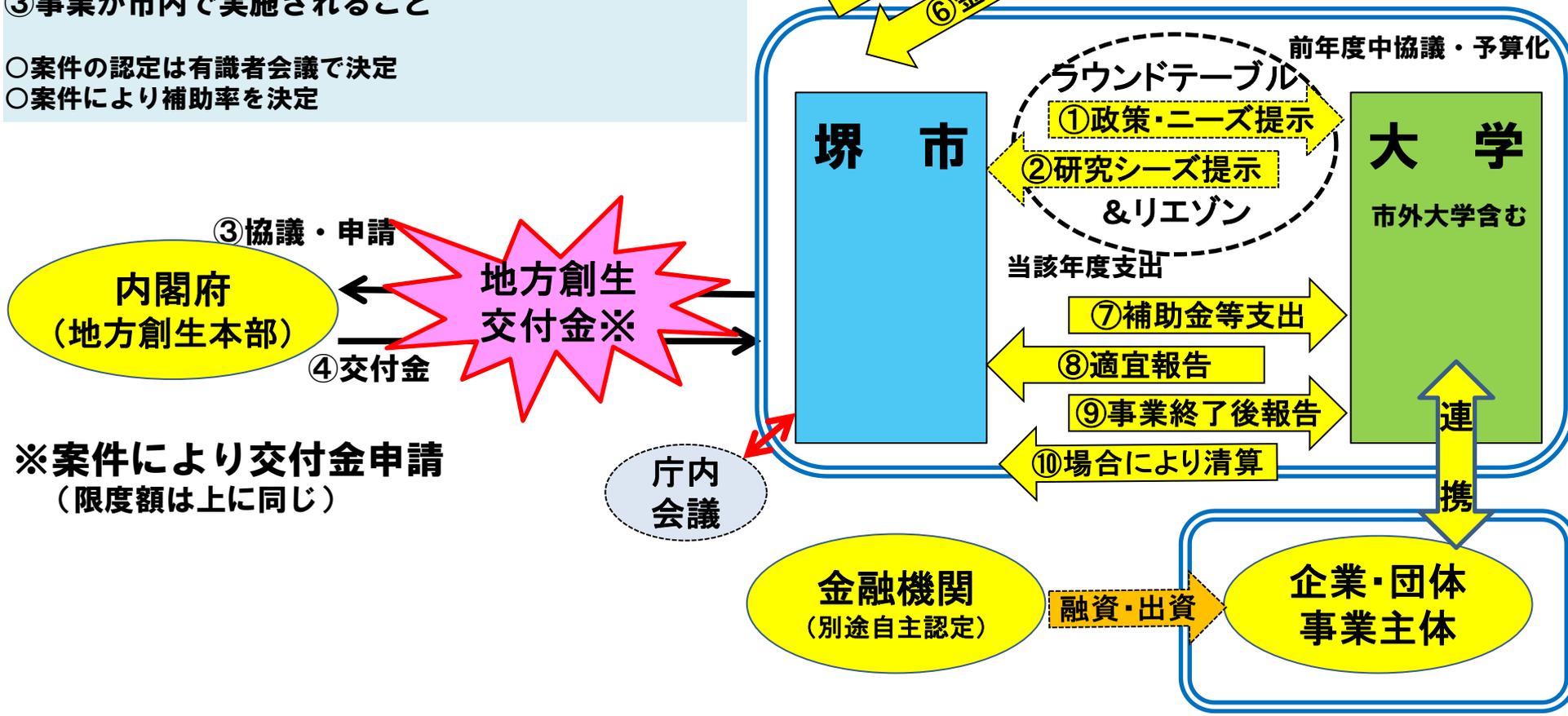
*実学で最も有名なのは適塾だが、阪大が適塾の後継とされている晩晴塾は河口慧海が土屋鳳洲に学んだとされる堺の塾

堺の将来の発展に必要な実学を大学とともに育成し、その利益を享受する枠組み

- 【要件】下記①～③を満たすこと
- ①堺市の財の形成が見込まれること（将来含む）
（税収増、動産や不動産価値の上昇、経費減、取引の増など）
 - ②雇用の発生や人材育成が見込まれること
 - ③事業が市内で実施されること

- 案件の認定は有識者会議で決定
- 案件により補助率を決定

産学官有識者会議
堺実学都市育成委員会
堺市、経済界、金融機関、
大学関係者等で構成



※案件により交付金申請（限度額は上に同じ）